



八ヶ岳
高原
音楽堂

「音楽の旅」シリーズ
「八ヶ岳の森 街の情景」

全4回

Koyama
Michie

Concert Season I

移りゆく情景に、作曲家の記憶を求めて

小山実稚恵



主催:八ヶ岳高原ロッジ
会場:八ヶ岳高原音楽堂

© Hideki Otsuka

移りゆく情景に、作曲家の記憶を求めて

ハケ岳高原音楽堂への旅は、車窓から眺める街並みや、季節ごとの景色に心を癒され、音楽とゆったりと向き合う特別な時間です。<Season I>では、傑作が生みだされた街をテーマに、ショパン、シューマン、シューベルト、ブラームスの縁の地を巡ります。ハケ岳の森に、作曲家たちが表現しようとした情景を求めて。小山実稚恵が誘う「音楽の旅」がはじまります。

自然は、音楽家にとってインスピレーションの源だった。ある作曲家は夏を涼やかな避暑地で過ごし、またある作曲家は、都会暮らしでも森を散歩することを好み、故郷の自然を回想して音楽を生み出した。今回スタートする「音楽の旅」では、大自然に包まれたハケ岳高原音楽堂で、小山実稚恵が作曲家の人生の旅に誘う。軸となるのは、優れた作曲家でありつつ、同時代の才能を見出し、情熱と文才をもってそれを世の中に知らしめたシューマンだ。第1回のショパンは、シューマンが自ら創刊した「新音楽時報」で、「諸君、脱帽しまえ、天才だ!」と絶賛したことが知られる。ノアンは、ショパンが祖国を離れたのち、パリで恋人同士となったサンドと毎夏を過ごした地。母性的な愛のなか、充実した創作活動を行った頃の作品が演奏される。第2回のシューマンで旅するのは、彼がクララと出会い、結ばれた地であるライプツィヒ。「謝肉祭」にはクララやショパンが登場し、「クライスレリアーナ」はショパンに献呈されている。芸術家の豊かなつながりに思いを馳せるプログラムだ。ライプツィヒ時代のシューマンは、先達への特別な敬愛から、一つの名作に光を当てる功績を果たした。シューベルト兄の家で、遺稿から大ハ長調の交響曲を発見したのだ。そのシューベルトは、青年期以後をウィーンで過ごした。第3回で取り上げるのは、最晩年の作品。彼は31年の人生をどう振り返ったのか。死の予感の中で書かれた音楽に、手がかりがあるかもしれない。ブラームスもまた、若き日にシューマンから世に紹介された。彼はその恩を忘れず、精神を病んだシューマン、そして妻のクララを支え続けた。ブラームス晩年のお気に入りの避暑地は、バート・イシュルだった。第4回で演奏される曲はここで書かれたもの。晩年の彼が、生い茂る緑からエネルギーを享受しつつあったための作品を味わう。ハケ岳の移りゆく季節を感じながら、音楽で19世紀ヨーロッパを旅する、贅沢な時間になりそうだ。

高坂 はる香 (音楽ライター)



ハケ岳に溢れる自然の香り。木々の色は刻々と移り変わり、時の想いを伝えてくれます。

<Season I>は、シューマンの鎖で繋がる4人の作曲家を巡る『音楽の旅』。「ハケ岳の森 街の情景」と題し、ハケ岳の森からインスパイアされたプログラムをお届けします。

ハケ岳の自然に身を委ねながら、ショパン・シューマン・ブラームス・シューベルトの名作が生まれた街、ノアン、ライプツィヒ、ウィーン、そしてバート・イシュルの『音楽の旅』をご一緒しませんか。

小山実稚恵



© ND CHOW

小山 実稚恵 (ピアノ) Michie Koyama

人気・実力ともに日本を代表するピアニスト。チャイコフスキー国際コンクール、ショパン国際ピアノコンクールの二大コンクールに入賞以来、今日に至るまで、コンチェルト、リサイタル、室内楽と、常に第一線で活躍し続けている。2017年までの『12年間・24回リサイタルシリーズ』は、演奏内容と企画性に於いて高い評価を受けた。2019年から『ベートーヴェン、そして…』がスタート。これまで、国内外の主要オーケストラ、国際的指揮者との共演も数多い。協奏曲のレパートリーは60曲を超える。東日本大震災以降、被災地でも演奏を行い、仙台では被災地活動の一環として自ら企画立案した「こどもの夢ひろば“ボレロ”」を開催。CDは、ソニーから昨年リリースされ、「レコード芸術」特選盤に選ばれた初のベートーヴェンのソナタ録音『ハンマークラヴィーア・ソナタ他』に続き、32枚目となるベートーヴェン・アルバム第2弾『ピアノ・ソナタ第30、31、32番』を2021年6月16日にリリース予定。著書に『点と魂と』、平野昭氏との共著『ベートーヴェンとピアノ「傑作の森」への道のり』、『ベートーヴェンとピアノ 限りなき創造の高みへ』がある。これまで文化庁芸術祭大賞、東燃ゼネラル音楽賞本賞、文化庁芸術祭優秀賞、芸術選奨文部科学大臣賞等を受賞。2017年度には紫綬褒章を受章。

2021年 8月27日(金)・28日(土)

第1回 ノアン「解き放たれた時間」

ショパン	マズルカ	作品 59-1	イ短調
		作品 59-2	変イ長調
		作品 59-3	嬰へ短調
幻想曲	作品 49	へ短調	
バラード	第 4 番	へ短調	作品 52
子守歌	作品 57	変ニ長調	
ピアノソナタ	第 3 番	ロ短調	作品 58

2022年 3月26日(土)・27日(日)

第2回 ライプツィヒ「音楽の歌 文学の詩」

シューマン	パピヨン	作品 2
	謝肉祭	作品 9
	クライスレリアーナ	作品 16

2021年7月18日(日)午前10時より予約受付開始
発売開始日当日は電話予約0267-98-2131のみで承ります。

2022年 秋 第3回 ウィーン「内心の声」

シューベルト	4つの即興曲	作品90-1	ハ短調
		作品90-2	変ホ長調
		作品90-3	変ト長調
		作品90-4	変イ短調
ピアノソナタ	第21番	変ロ長調 (D960)	

2023年 初夏 第4回 バート・イシュル「初夏のソナタ」

ブラームス	間奏曲	3つの間奏曲 作品117より 第1番 (ピアノ・ソロ)
		3つの間奏曲 作品117より 第2番 (ピアノ・ソロ)
間奏曲	6つの小品 作品118より 第2番 (ピアノ・ソロ)	
ヴァイオリンソナタ	第2番 変ホ長調 作品120-2 (ヴァイオリン・ピアノ)	
ヴァイオリンソナタ	第1番 へ短調 作品120-1 (ヴァイオリン・ピアノ)	